

**注意！**

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農薬使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

# 農作物技術情報 第6号 水稻

発行日 平成28年 8月25日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコンからは「<http://i-agri.net/agri/>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

刈取り始めの目安となる日(出穂後、日平均気温の積算温度が950℃に到達する日)は平年並と予想されます。<sup>※8/22現在</sup>

収穫時期は日没が早まりますので、余裕のある作業計画で、適期に収穫しましょう。

- コンバインや乾燥調製施設の点検、整備は早めに行いましょう。
- 品質低下を防止するため、完全落水は出穂後30~35日後としましょう。
- 刈取り適期の判定は、黄化籾割合で80~90%を目安に適期に収穫しましょう。
- 籾の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げましょう。
- 次年度、品種の切り替えを予定している場合は、今秋からの異品種混入(コンタミ)対策を徹底しましょう。

## 1 生育状況

県全体の出穂期は8月6日と平年並(平年差-1日)でした(表1)。好天で経過したことから出穂・開花は良好であり、登熟も順調に進んでいます。

表1 水稻の地帯別出穂時期 (各農業改良普及センター調べ)

農業地帯	出穂期								
	本年			平年			平年差(日)		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	8/2	8/7	8/11	8/3	8/7	8/11	-1	0	0
北上川下流	8/3	8/6	8/9	8/3	8/6	8/10	0	0	-1
東部	8/2	8/5	8/9	8/4	8/7	8/11	-2	-2	-2
北部	8/4	8/7	8/11	8/4	8/7	8/11	0	0	0
県全体	8/3	8/6	8/10	8/3	8/7	8/10	0	-1	0

注) 1 平年値は平成18年~27年の10か年平均値

2 始期、盛期、終期は各々地帯で概ね10%、50%、90%の水田で出穂した日

## 2 気象経過

出穂以降も気温は平年より高く経過していますが、8月第3半旬は平年を下回りました(図1)。

東北地方の1ヶ月予報(仙台管区気象台8月18日発表)では、暖かい空気に覆われやすく気温は高く、気圧の谷や湿った気流の影響で降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。

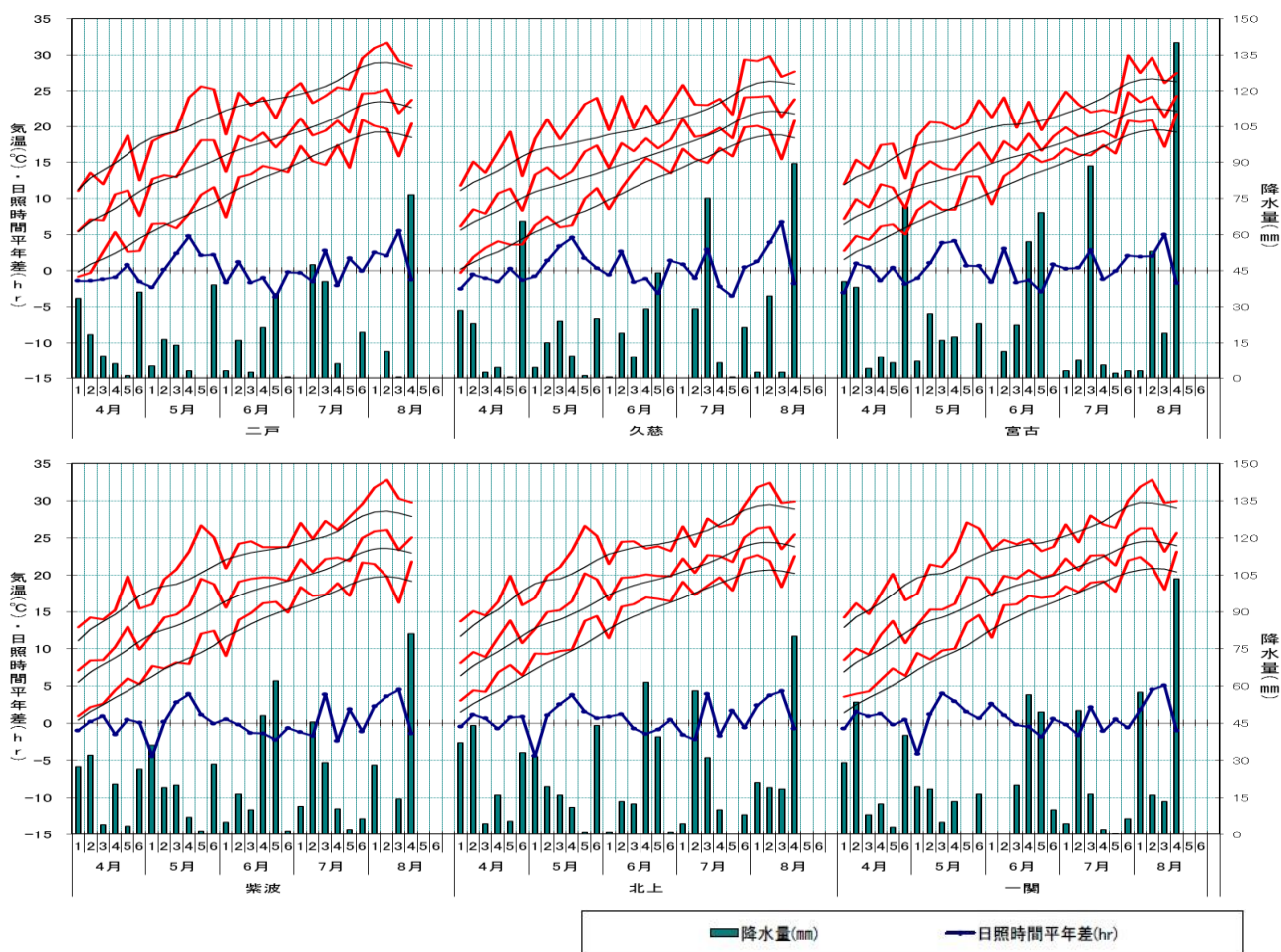


図1 半旬別気象経過図（4月第1半旬～8月第4半旬）  
 （上段：二戸・久慈・宮古 下段：紫波・北上・一関）

### 3 玄米品質を低下させない水管理

#### (1) 登熟期の水管理

登熟期の高温は品質低下の原因となるので、適切な水管理を心掛けましょう。根の活力を維持するため間断灌がいを行い、田面が湿っている程度の水分を保つような水管理を行ってください。落水が早すぎると収量や品質の低下につながります。以下を目安に落水しましょう。

- ◆ 排水が悪く地下水位が高い水田・・・出穂30～35日頃
- ◆ 排水のよい水田・・・出穂35～40日頃

#### (2) 台風や大雨時の水管理

台風、大雨等で浸水や冠水の恐れがあるときは、水尻を開けて排水を促します。浸水や冠水した場合には、速やかに排水するように努めてください。特に、長時間冠水すると登熟に影響しますので、少しでも早く排水して水稻の葉先を出すことが重要となります。

台風通過後は、稲体が水分を失いやすい状態にあるため、田面を急激に干さないよう間断灌がいしましょう。

### 4 適期刈取りの励行

本年は出穂期も平年並であり、刈取り時期も平年並が予想されます。しかし、東北地方の1ヶ月予報では気温が高く経過する見込みであり、今後刈取り時期が早まる可能性もあります。今後の天候の経過に注意して、適期に刈取って高品質米生産に努めましょう。

今年も新米の安全性を確認するための放射性物質調査を全県で実施します。カントリーエレベーター、ライスセンターをご利用の方は施設の稼働時期を確認のうえ刈取り計画をたてましょう。

(1) 刈取り適期の予測

刈取り適期は出穂期からの日平均気温の積算による方法で予測します。品種ごとに刈取り適期の目安となる積算気温が定められています(表2)。

本年の各地域での刈取り始めの目安となる日(出穂後、日平均気温の積算温度が950℃に到達する日)は平年並と予測されます(表3、図2)。

コンバイン、乾燥調製施設の清掃、点検整備は早めに行い、刈取り準備を進めましょう。

表2 主要品種の積算気温による刈取り適期の目安

品種名	刈り取り適期の積算気温
ひとめぼれ	900~1,050℃
どんびしゃり	950~1,050℃
あきたこまち	950~1,100℃
かけはし	950~1,050℃
いわてっこ	950~1,050℃
ササニシキ	1000~1,150℃
ヒメノモチ	950~1,050℃
もち美人	950~1,050℃

表3 各地域の出穂期と日平均積算気温950℃到達日の予測

農業地域	出穂期						刈り取り始めの目安						使用アメダス地点		
	本年			平年			日平均気温積算温度950℃到達日(月/日)								
	出穂始期~		出穂盛期~		出穂終期~		本年		平年		本年			平年	
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	本年	平年	本年	平年	本年	平年			
花巻	8/3	8/6	8/9	8/3	8/6	8/10	9/13	9/13	9/17	9/17	9/22	9/23	花巻		
北上	8/4	8/7	8/11	8/4	8/8	8/12	9/15	9/15	9/19	9/20	9/25	9/26	北上		
遠野	8/5	8/8	8/13	8/2	8/5	8/9	9/20	9/16	9/24	9/20	10/1	9/26	遠野		
西和賀	8/2	8/6	8/9	8/4	8/7	8/11	9/16	9/19	9/22	9/23	9/26	9/29	湯田		
盛岡	8/2	8/8	8/12	8/3	8/7	8/11	9/15	9/17	9/24	9/23	9/30	9/29	雫石		
紫波	8/1	8/5	8/11	8/2	8/6	8/10	9/12	9/13	9/18	9/19	9/27	9/25	紫波		
八幡平	8/2	8/6	8/9	8/1	8/6	8/9	9/15	9/14	9/21	9/21	9/26	9/26	岩手松尾		
奥州	8/2	8/5	8/9	8/2	8/6	8/10	9/12	9/12	9/16	9/17	9/22	9/23	江刺		
一関	8/1	8/4	8/8	8/3	8/5	8/8	9/10	9/13	9/14	9/16	9/20	9/20	一関		
大船渡	7/31	8/3	8/9	8/3	8/6	8/10	9/10	9/14	9/14	9/18	9/22	9/23	大船渡		
釜石	8/1	8/4	8/8	8/3	8/6	8/10	9/12	9/14	9/16	9/18	9/21	9/24	釜石		
宮古	8/3	8/6	8/9	8/4	8/7	8/12	9/16	9/18	9/21	9/22	9/25	9/29	山田		
岩泉	8/4	8/6	8/8	8/5	8/8	8/11	9/18	9/20	9/22	9/25	9/25	9/29	岩泉		
久慈	8/6	8/9	8/12	8/5	8/9	8/12	9/21	9/20	9/26	9/26	9/29	9/29	久慈		
二戸	8/2	8/5	8/9	8/3	8/6	8/10	9/15	9/16	9/19	9/21	9/25	9/27	二戸		
軽米	8/3	8/6	8/11	8/3	8/6	8/10	9/18	9/18	9/22	9/22	9/30	9/29	軽米		
北上川上流	8/2	8/7	8/11	8/3	8/7	8/11	9/14	9/15	9/21	9/21	9/28	9/27			
北上川下流	8/3	8/6	8/9	8/3	8/6	8/10	9/13	9/13	9/17	9/18	9/23	9/23			
東 部	8/2	8/5	8/9	8/4	8/7	8/11	9/13	9/16	9/18	9/20	9/23	9/26			
北 部	8/4	8/7	8/11	8/4	8/7	8/11	9/18	9/18	9/22	9/23	9/28	9/28			
県 全 体	8/3	8/6	8/10	8/3	8/7	8/10	9/14	9/14	9/18	9/19	9/25	9/24			

\* 各地域の代表アメダス地点の日平均気温について、8月21日までは実測値、以降は平年値を使用して積算気温950℃到達日を予測した。

\* 出穂始期：10%出穂した日、出穂盛期：50%出穂した日、出穂終期：90%出穂した日

\* 平年は、H18~H27の10か年平均値である。

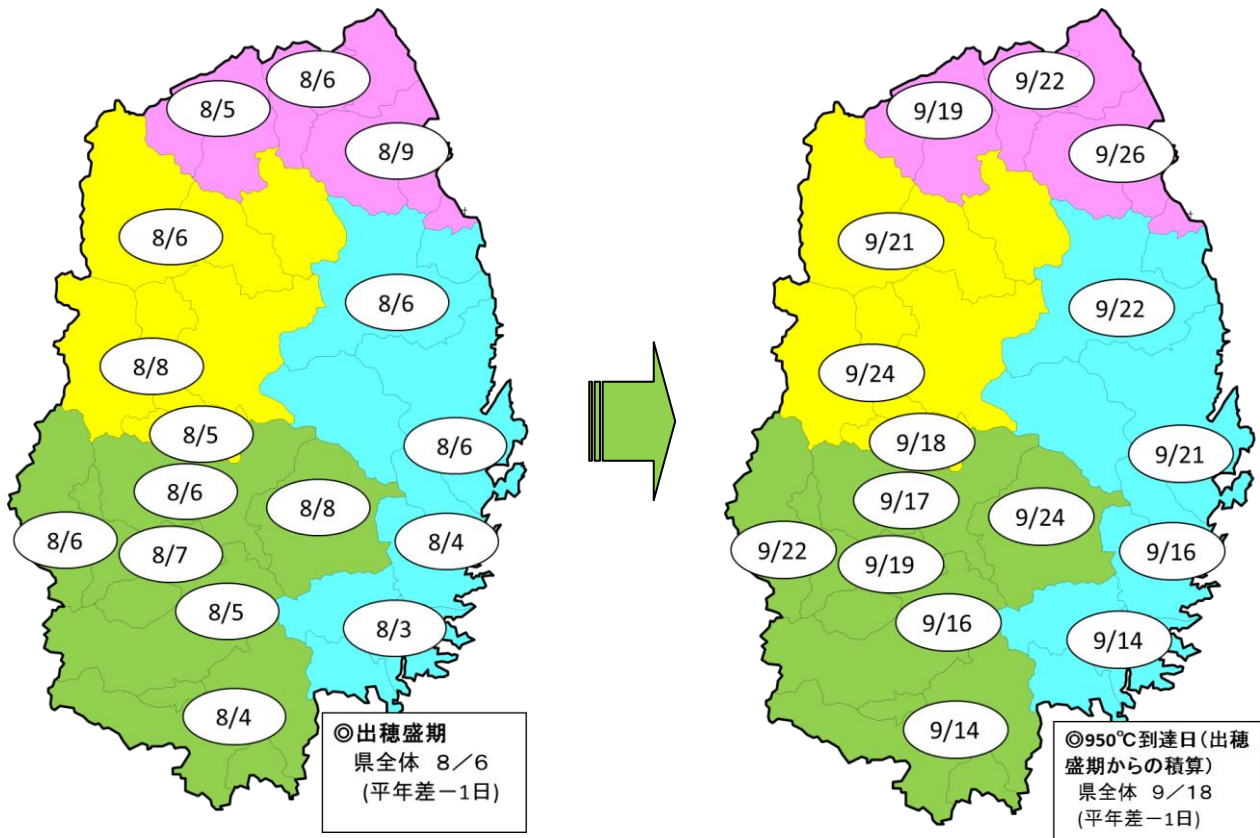


図2 各地域の出穂盛期から日平均積算気温950℃到達日(予測)

※ 各地域の代表アメダス地点の日平均気温の積算(8/21までは実測値、以降は平年値を使用)

(2) 刈取り適期の判断

登熟積算気温が950℃に近づいたら、次の手順で判断してください。

ア. 黄化籾割合のチェック

黄化籾割合80~90%とは、1穂の籾の80~90%の籾が黄色になり、穂の基部の籾が10%程度緑色が残っている頃です。

イ. テスト籾すりによるチェック

黄化籾割合が80~90%に達したら、試験的に数穂を籾すりしてみましょう。



図3 籾の黄化割合と刈取り適期判断の目安

積算気温による刈取り適期の判断は、栽培法や日照時間によりズレが生じる場合がありますので、実際の登熟状態を確認してください。

(3) 収穫作業の留意点

ア. 籾水分の確認

コンバイン収穫では、作業開始前に水分計で籾の水分状態が20~25%にあることを確認します。また、コンバイン収穫した生籾は放置せず、速やかに乾燥調製施設へ搬入しましょう。

イ. 水田内で出穂のばらつきが大きい場合

1枚の圃場内で出穂のばらつきが見られ、水口などで登熟が大幅に遅れているような場所は、刈分けして品質低下を避けてください。

## ウ. 倒伏した場合

台風や大雨等により倒伏した場合は刈分けを行い、土が付着した籾や青未熟粒等の混入を避けてください。

## 5 乾燥・調製の留意点

仕上げ水分は15.0%以下を徹底！！

### (1) 胴割れ粒の発生防止

火力乾燥においては、1時間あたりの水分減少率（毎時乾減率）を0.8%以下とします。これ以上乾燥速度を上げると胴割れ粒が発生しますので、急激な乾燥を避け、また過乾燥にならないよう注意が必要です。

4%以上の水分差がある籾を一緒に張り込むことは避けます。また、籾水分18%の時に一旦乾燥機を止めて放冷・循環常温通風し、その後仕上げ乾燥して籾水分の均質化を図ります（二段乾燥）。自然乾燥においては、掛け替え等で乾燥促進に努め、乾燥期間は2週間以内としてください。

### (2) 籾すり時の肌ずれ、脱ぶの防止

玄米水分15.0%以下の適正水分で籾すりを行います。（肌ずれ米の防止）

ゴムロールのすき間は、籾の厚さの約1/2（0.5～1.2mm）が標準です。

脱ぶ率は条件により変化するので、85%程度になるようロール間隔を調整します。

### (3) ライスグレーダー

出荷製品用は、LL（1.9mm）の篩い目使用を基本とし、整粒歩合80%以上を目指しましょう。

## 6 異品種混入の防止

産地から出荷する米穀は「表示銘柄以外の混入のない米」であることが必須です。

異品種混入（コンタミ）が発生すると、品種名の表示ができなくなることに加え、産地全体のイメージダウンとなります。機械や施設の点検・清掃を徹底しましょう。

コンバイン、運搬機、乾燥機や籾摺機など収穫・乾燥・調製機械や施設内には、前年の籾等が残留している可能性がありますので、これらの機械や施設の点検・清掃を十分に行い、異品種混入を未然に防止しましょう。

## 7 農作業安全

収穫時期は日没が早まり、例年農作業事故の発生が多くなります。余裕をもった作業計画を作成し、農作業安全に努めましょう。また、作業機に反射シールを貼るなどして交通事故を防止しましょう。

## 8 直播栽培（鉄コーティング種子による湛水表面播種栽培）の適期刈取り

直播栽培は、移植栽培に比べて出穂期や成熟期などの生育ステージが10日～2週間程度遅くなります。登熟を低下させない水管理を心掛け、適期に収穫しましょう。

倒伏した場合は刈分けを行い、土が付着した籾や青未熟粒等の混入を避けましょう。

次号は9月29日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

熱中症防止

- 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行うこと。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給すること。気温が著しく高くなりやすいハウス等の施設内での作業中については、特に注意。
- 帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をすること。作業場所には日よけを設ける等できるだけ日陰で作業するように努めること。
- 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断するとともに、涼しい環境へ避難し、水分や塩分を補給すること。意識がない場合や自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても良くならない場合は、直ちに病院で手当を受けること。

**6月1日～8月31日は  
農薬危害防止運動期間です**

- 近隣住民・周辺環境に配慮しましょう
- 農薬散布準備、作業中・後の事故に注意しましょう
- 農薬の保管・管理は適切にしましょう

中央農業改良普及センター・県域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。